

自己評価結果公表シート(令和5年度)

学校法人山脇学園 友星幼稚園

1. 本園の教育

目標:身体は元気に 心は豊かに
方針:やさしく思いやりのある子ども
強くたくましく元気な子ども
豊かな感性をもつ子ども

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

評価項目に沿って自己評価を実施することで、教職員自らが客観的に自園を見つめ直し、それぞれの課題を見出す。

3. 本年度評価項目の取組状況

評価項目	取組状況
指導計画策定	幼稚園教育課程に基づき、各項目に対する指導計画を各学年、各学期毎に加筆、修正を行う。
特別支援教育	教育研究所や市の福祉医療等関係機関と連携し、心理指導員の助言をもとに個別の支援方法に務める。
子どもの安全	全教職員が子ども達の安全管理者としての意識を高め、遊具の点検及び園庭等の安全確保に務める。
園内研修の充実	教職員が互いの保育を建学し、意見や気づいた事を出し合うことにより、自らの保育を見直すとともに教育の質の向上に努める。
災害から子どもを守る	月一度の避難訓練時に、その時に応じた安全な避難経路の確保や避難方法を検討し、子どもの安全確保に努める。
保育業務の分散化	これまで教職員がすべて取り組んできた業務を分散させ、教職員の負担を軽減させる。送迎バスの添乗、預かり保育の専任担当等、職員を増員して担任の負担を軽減させる。

子育て支援	早朝保育(午前8時～8時45分)預かり保育の時間延長(午後7時まで)及び利用者の拡充に努める。
-------	---

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

全教職員が話し合うことにより、取り組むべき課題に対する共通の理解をもつことが出来た。また、それぞれが自己評価することにより、本園の保育を再確認するとともに方針を明確にした。

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
コロナ禍における幼児教育	5月より、新型コロナが5類感染症になったことにより、園の行事や保育活動をコロナ前に戻しつつ、今度の状況の変化に対応できる体制を整えていく。
自然環境を活かした保育	恵まれた自然環境を活かした保育を推進し、課外での稲刈りや芋ほり、園の菜園での野菜作りなど土や自然との触れ合う機会を充実させていく

6. 学校関係者の評価

昨年より、園での行事もコロナ前のように行うことができ、保護者も幼稚園の様子を直に見る機会が増えた。しかし、まだ感染は続いているところで、幼稚園と保護者それぞれ安全を考慮しながら今後の活動内容を決めていく必要がある。